

総務文教常任委員会資料

平成30年4月23日

教育委員会こども未来部
小中一貫教育推進室

目 次

東条地域小中一貫校の基本設計について・・・・・・・・・・	P 1
------------------------------	-----

設計方針（基本コンセプト）

■小中一貫教育の導入の目的、めざす子ども像

◇加東市における小中一貫教育導入の目的

～義務教育 9 年間の一貫した指導～

各教科をはじめ、運動会や体育祭などの学校行事、道徳等の教育活動すべてにおいて、小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動を行うことで、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもを育成する。

◇加東市のめざす子ども像

「自ら学ぶ子」

「自他を
大切にする子」

「ねばり強い子」

ふるさと加東から未来へ

「個性豊かな子」

「自分を活かす子」

「たくましい子」

■加東市東条地域小中一貫校 設計方針

(1) 加東市がめざす

小中一貫教育が推進できる学校

4-3-2 制に適した教室配置、ICT 機器の活用
異学年交流、地域文化・自然・異文化が学べる
主体的に学習できる

(2) 安全・安心な学校

災害に強い、避難所機能
死角が少ない防犯設備
安全通行、ユニバーサルデザイン

東条地域
小中一貫校

(3) 快適でゆとりのある学校

ゆとり、木のあたたかみ、ぬくもり
明るく風通しがよく快適
動線に無駄がない 清潔

(4) 地域に根ざした学校

自然と共生、地域と調和
地域交流、文教ゾーンのシンボル
児童生徒・教職員・地域住民の誇り

(5) 管理しやすく、 長く使える学校

環境にやさしい、長く使える
維持管理・修繕に配慮
使い勝手の良い施設

施設概要

・建設地	兵庫県加東市天神 4 番 2 他
・敷地面積	約 45,000 m ²
・構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
・規模	地上 5 階建て
・最高高さ	21.2m
・建築面積	4,962 m ²
・延床面積	13,229 m ²
・用途地域	指定なし
・防火地域	指定なし
・基準容積率	200%
・基準建ぺい率	60%
・施設概要	教室棟：普通教室、特別支援教室、多目的スペース 多目的教室、少人数教室、図書室、PC 教室、地域 交流室、交流ラウンジ、生活科教室、美術室、図画 工作室、金工室、木工室、理科室、英語教室、音楽 室、調理室、被服室、職員室、学園長室、保健室 相談室、会議室他 体育館棟：大体育館、小体育館、柔剣道場、器具庫他

※計画内容については詳細設計を進めるにあたり変更となる可能性があります。

配置計画

■東条川と故郷の景観を望む教育環境

- 東条地域の美しい田園風景を一望できる豊かな立地条件を活かし、東条川に面した南側に校舎を配置します。
- 児童生徒が最も長い時間を過ごす普通教室を東条川に面して配置することで、陽当たりが良く、地域の美しい景観を日々感じることができる、豊かな教育環境を確保します。

■周辺の環境と調和する施設配置

- 新校舎は敷地南西側に集約し、運動場は敷地北東側に、県道小野藍本線に沿って、都市公園と一体となるように配置します。
- 計画敷地東側の天神地区の住宅街に対して建物を離して配置することで、近隣の住環境に対する影響が最も少ない計画とします。

■歩車分離と県道小野藍本線の交通に配慮した車両動線計画

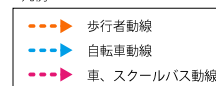
- 徒歩、スクールバス、自転車など異なる手段で通学する児童生徒の安全を最優先するため、スクールバス、給食車両を含む全ての車両進入口を敷地南西側に集約し、敷地内の歩車分離を明確にします。
- 駐輪場は自転車車両動線と交錯しないよう、県道小野藍本線の歩道から直接入る計画とします。
- スクールバスなどの車両は、県道小野藍本線から直接敷地に入らない計画とすることで、県道の交通への影響がない計画とします。

200mトラック 6 コース、100m 走 6 コースを
確保した大運動場

180mトラック 6 コース（200mトラック 3 コース）、
100m 走 6 コースを確保した小運動場

乗用車とスクールバスの駐車可能な
ゆとりある駐車場

凡例



全体配置イメージ図

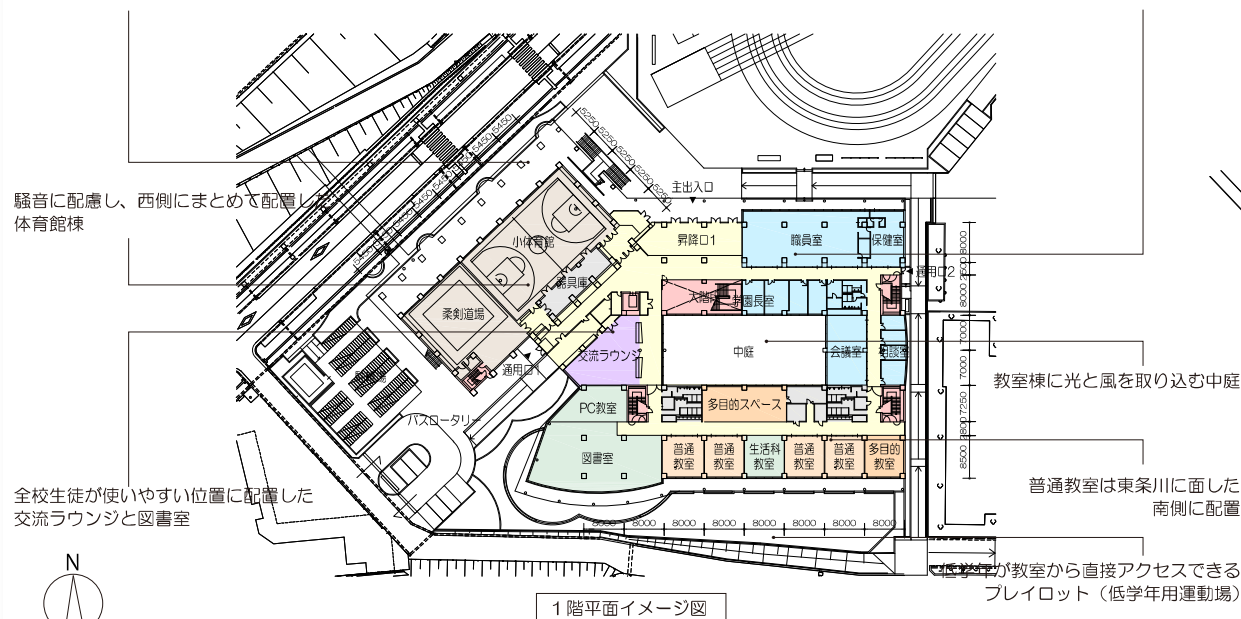


東条地域小中一貫校基本設計の概要

平面計画

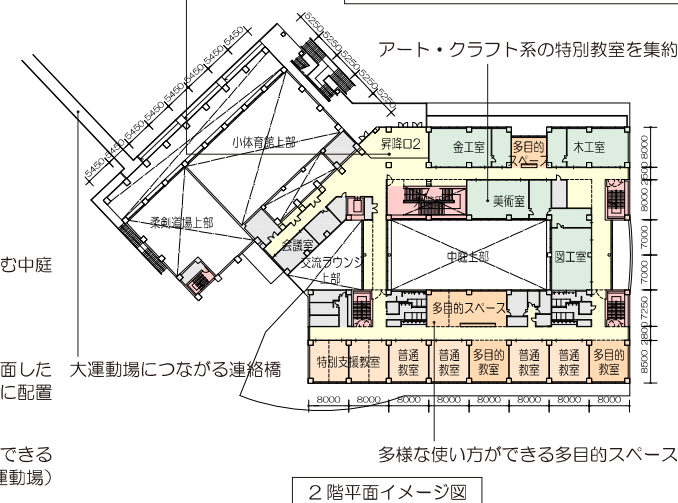
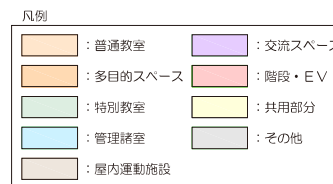
※計画内容については詳細設計を進めるにあたり変更となる可能性があります。

バス乗り場から正門まで続く
ビロティ（スクールストリート）



職員室や保健室は小運動場を見渡せる
北側に配置

高学年は昇降口2よりアクセス



■校舎、体育館、運動場、プールの配置について

- 普通教室は全て敷地の南側に配置します。
- 教室棟は中庭を取り囲んだロノ字型プランとし、通風、採光に配慮したコンパクトな計画とします。
- 体育館とプールを校舎と一体的に作ることで、敷地の高度利用を図り、広い運動場を確保します。

■普通教室について

- 1階に1,2年生、2階に3,4年生、3階に5,6,7年生、4階に8,9年生の普通教室を配置し、4-3-2制に対応した計画とします。
- 普通教室はゆとりある大きさとします。
- 各階に多目的教室や少人数教室を配置し、様々な授業形式に柔軟に対応できる計画とします。
- 多目的教室は生徒数の変動に対応する予備教室としても活用します。
- 各階にオープンな多目的スペースを配置し、明るくゆとりある共用空間とするとともに、学級や学年の枠組みを超えた、多様な学習に対応可能な計画とします。

■特別支援教室について

- 特別支援教室は2階と4階に分散配置するとともに、各階に配置した多目的教室を特別支援教室に転用することも可能です。
- 特別支援教室はエレベーターからアクセスの良い位置に配置します。
- 年度によって変動する児童生徒数や、児童生徒の状況に柔軟に対応可能なよう、可動間仕切を採用し、教室の数や大きさを変更できるフレキシブルな教室とします。

■特別教室について

- 特別教室は校舎北側に集約し、普通教室と分けた配置とします。
- 特別教室ゾーンは面積効率が良い中廊下形式を採用します。
- 特別教室ゾーン内にも多目的スペースを設け、作品展示などに活用するとともに、中廊下への採光、通風を促進します。
- 関連する教科を近接させることで、教材の共用化など効率的な運用を可能とするともに、教職員間の連携を高める計画とします。
- 音楽室は普通教室等への音の影響の少ない最上階に配置します。

■管理部門について

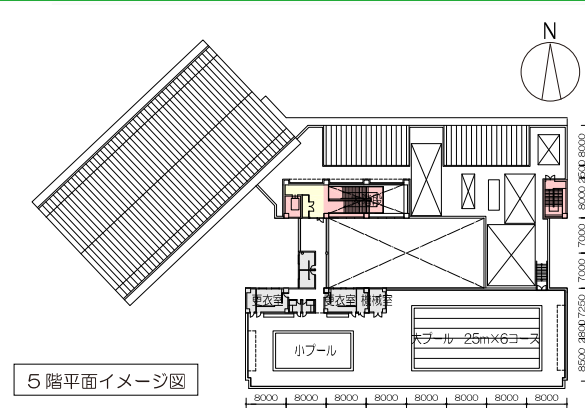
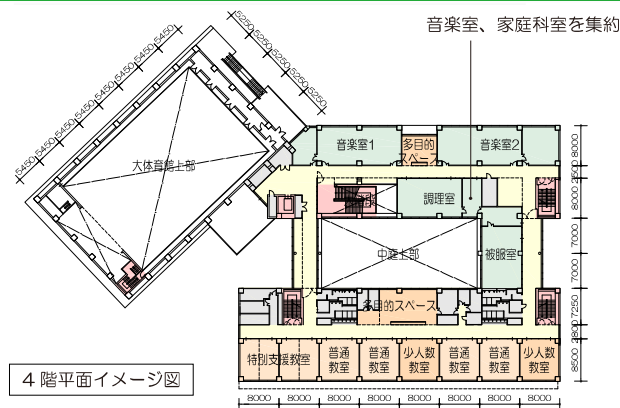
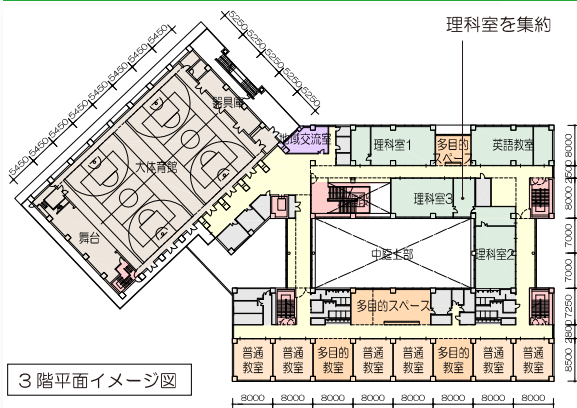
- 職員室や学園長室などの管理部門は昇降口や小運動場の様子を把握しやすい1階北側に配置します。
- 保健室は小運動場に面して配置します。
- 職員室と保健室に小運動場に直接出入りできる出入口を設置します。
- 保健室は緊急車両のアクセスが容易な昇降口近傍に配置するとともに、昇降口を bypass して直接アクセスできる出入口の近くに配置します。
- 相談室を保健室の近傍に配置します。
- 会議室を管理部門内に配置し、会議利用のほか、PTAの会合など、多用途に活用できる計画とします。

■図書室について

- 図書室はもっとも静かで明るい位置に配置します。
- PC教室を併設し、図書・情報ゾーンを形成します。
- 図書・情報ゾーンは全学年が利用しやすい校舎の1階部分に配置します。

平面計画

※計画内容については詳細設計を進めるにあたり変更となる可能性があります。



共用部について

- 小学生の昇降口を1階、中学生の昇降口を2階に配置することで、小中学生の体格差や登下校時の混雑に配慮した安全な計画とします。
- 2階～4階の共用部は開放的でゆとりある空間とし、自習や学年文庫の設置などに対応可能な計画とします。
- 校舎中央に配置した中庭は校舎各部への採光や通風を促進するとともに、1階部分は学年集会や各種発表などのイベントに活用できる屋外の教室として計画します。
- 便所は階毎に分散配置する使いやすい計画とします。
- 階段をバランスよく配置し、使いやすく避難しやすい施設とします。

明るい学校とするための取組

光と風を取り込む工夫について

- ロノ字型の中廊下形式を採用した校舎の各所に、多目的スペースを廊下と一体となるように分散配置し、教室棟中央に4層吹抜けの中庭を設けることで、建物内に光と風を取り込む計画とします。

多目的スペースについて

- 各学年の普通教室近傍に配置し、学年集会、少人数学習、グループ学習、自習、異学年交流授業などに活用する計画とします。
- 多目的スペース内にティーチャールームや相談室、教材庫等を配置し、授業内容の充実をサポートします。
- 学習展示などにより学年毎の独自性を発揮する場となります。
- 児童生徒間、教職員と児童生徒など、様々な交流を育む場として計画します。
- 学年文庫の配置や自習スペースの確保など、児童・生徒の主体的な学習を促すことができます。

学校施設の地域開放について

- 1階の小体育館と柔剣道場、3階の大体育館と地域交流室を地域開放可能な計画とします。
- 地域開放時は1階、3階の北側出入口と1階南側の通用口1を利用する計画とします。
- 地域交流室は3階に配置し、大体育館の控室としても利用できる計画とします。

体育館について

- 大体育館を3階、小体育館と柔剣道場を1階に配置し、積層します。
- 地域開放しやすく、教室への騒音の影響がないよう、西側に集約して配置します。

プールについて

- プールは校舎南側の屋上に設けることで、陽当たりが良く、管理しやすい計画とします。
- プールから東条川越しに豊かな田園風景を見渡せる計画とします。
- 各普通教室からは北側の大階段とエレベーターを用いてアクセスでき、プールサイドからの二方向避難も確保します。
- 大小2つのプールを確保し、児童生徒の体格差に配慮します。
- プール機械室は1か所に集約する効率の良い計画とします。

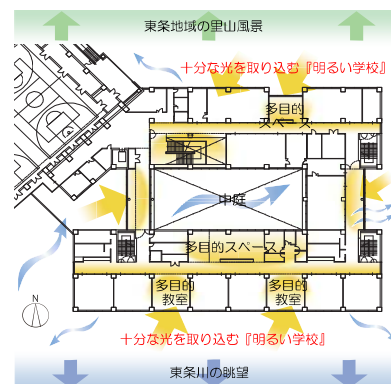
災害対策計画と環境配慮計画

災害時避難施設としての取組

- 「官庁施設の総合耐震計画基準」耐震分類構造Ⅱ類（重要度係数1.25）、建築非構造部材A類、設備甲類を確保する災害時避難施設とします。
- 太陽光発電システムを設置し省エネを図るとともに、災害時の電力供給にも活用する計画とします。
- 落下リスクの少ない天井を採用する安全な計画とします。
- 1階交流ラウンジは南側から車両で直に物品搬入できるため、緊急時の物資受け入れ場所として活用できます。

環境配慮計画

- 教室棟の中央に設けた大階段を吹き抜け空間（エコシャフト）に活用し、自然採光と自然通風を促進します。
- 地下ピットを経由した外気導入（クール・ヒートピット）など、自然エネルギーを積極的に活用する計画とします。
- LED照明器具を全面採用し、部分的に昼光センサー・人感センサーを併用します。



明るい学校とするための取組イメージ



中庭、多目的スペース事例

県道小野藍本線からの景観イメージ



※計画内容については詳細設計を進めるにあたり変更となる可能性があります。

青字：計画前レベル

- ①現テニスコート
- ②現東条文化会館前
- ③河川管理道路（南門付近）

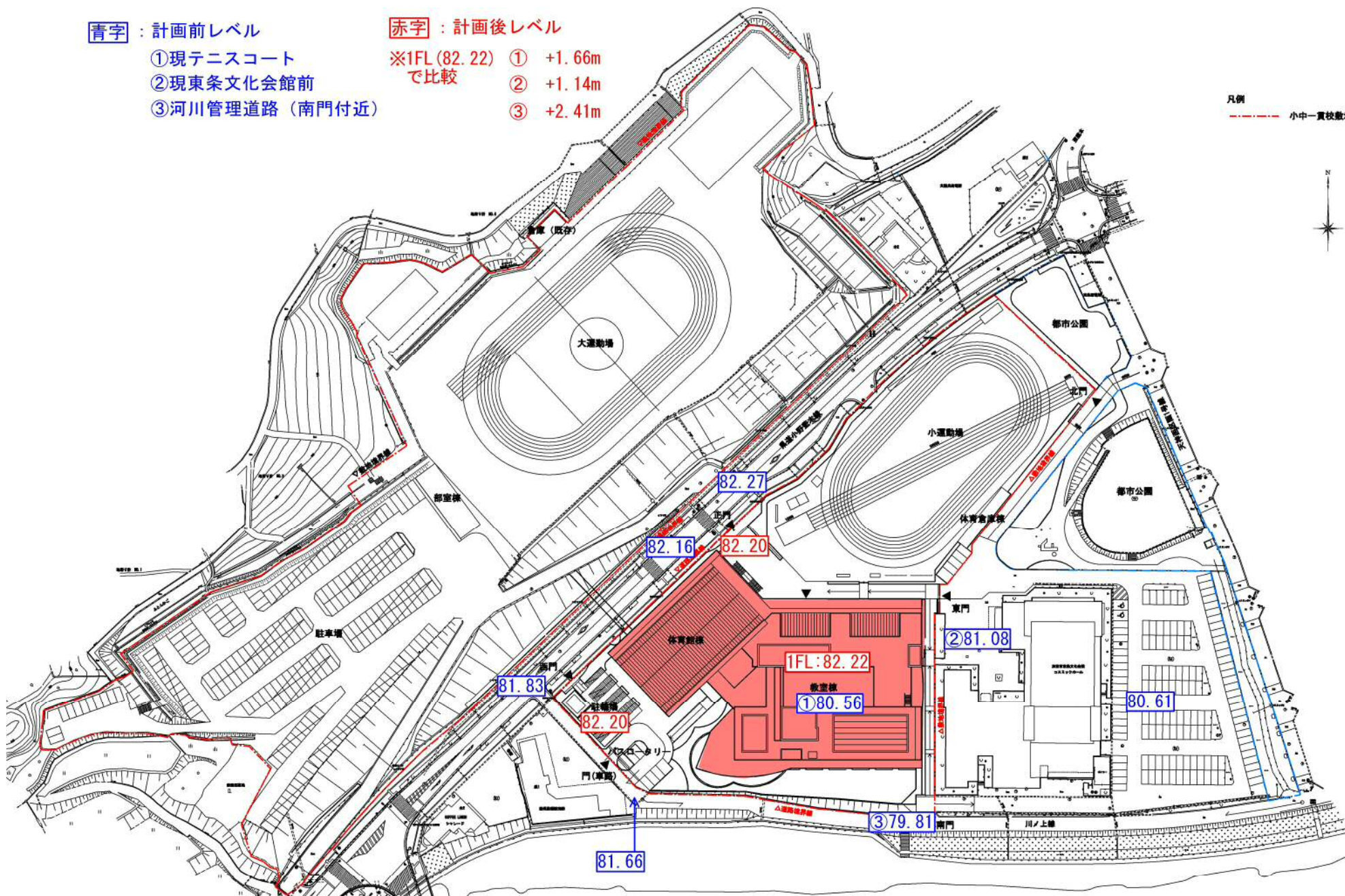
赤字：計画後レベル

※1FL (82.22) で比較

①	+1.66m
②	+1.14m
③	+2.41m

凡例

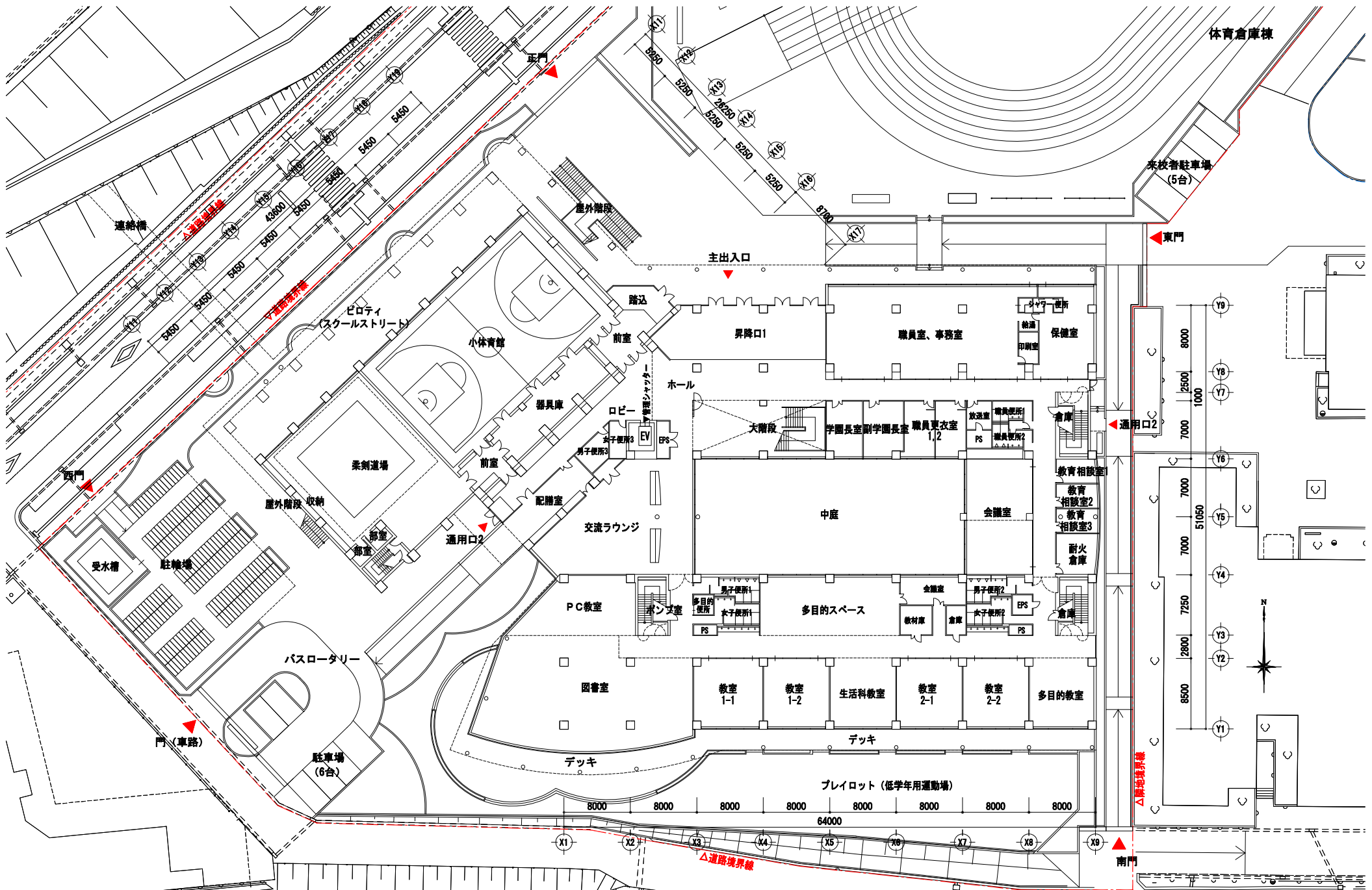
——●——●——●—— ●小中一貫校敷地境界



東条地域小中一貫校基本設計の概要

全体配置図

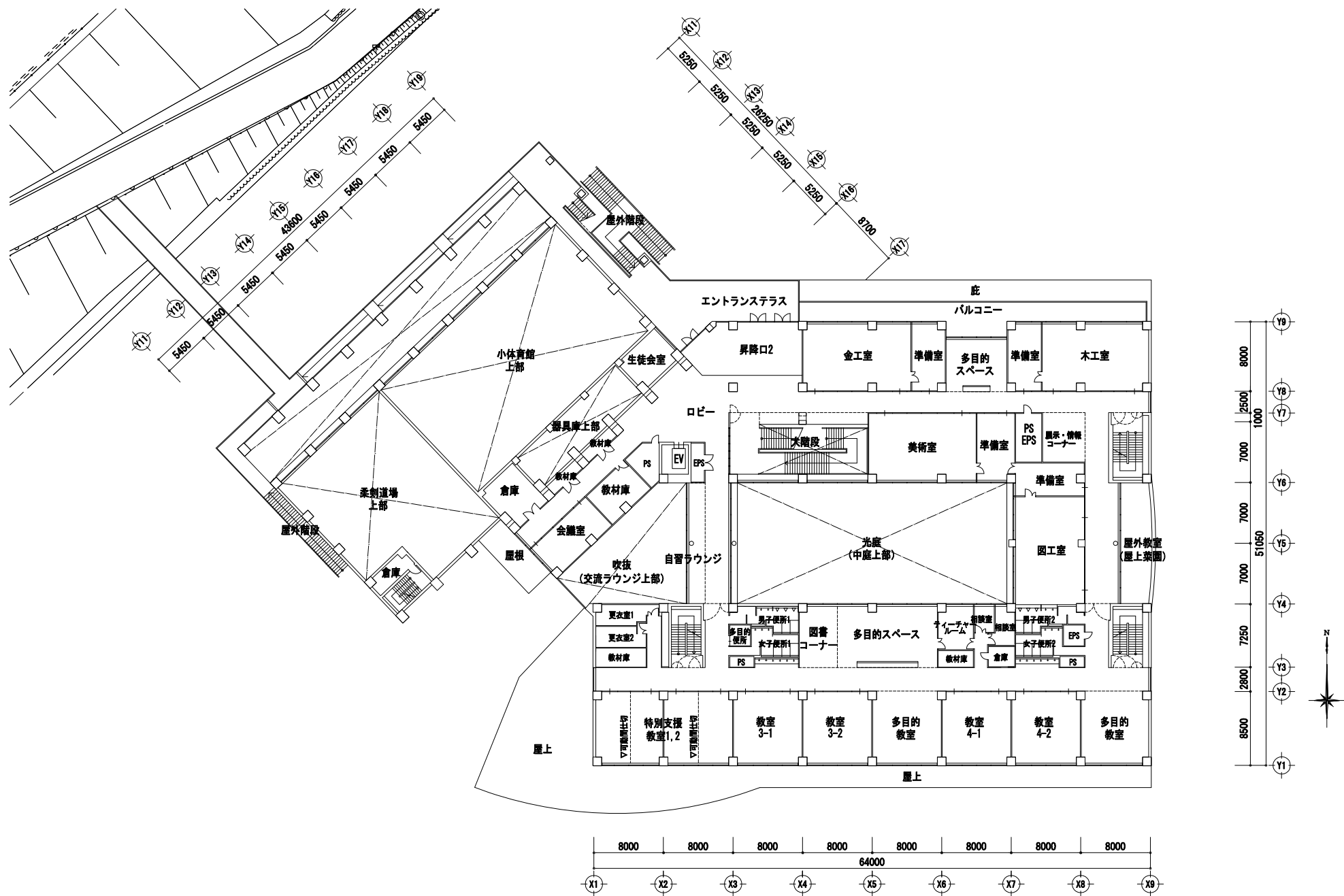
1:1200 (A3)

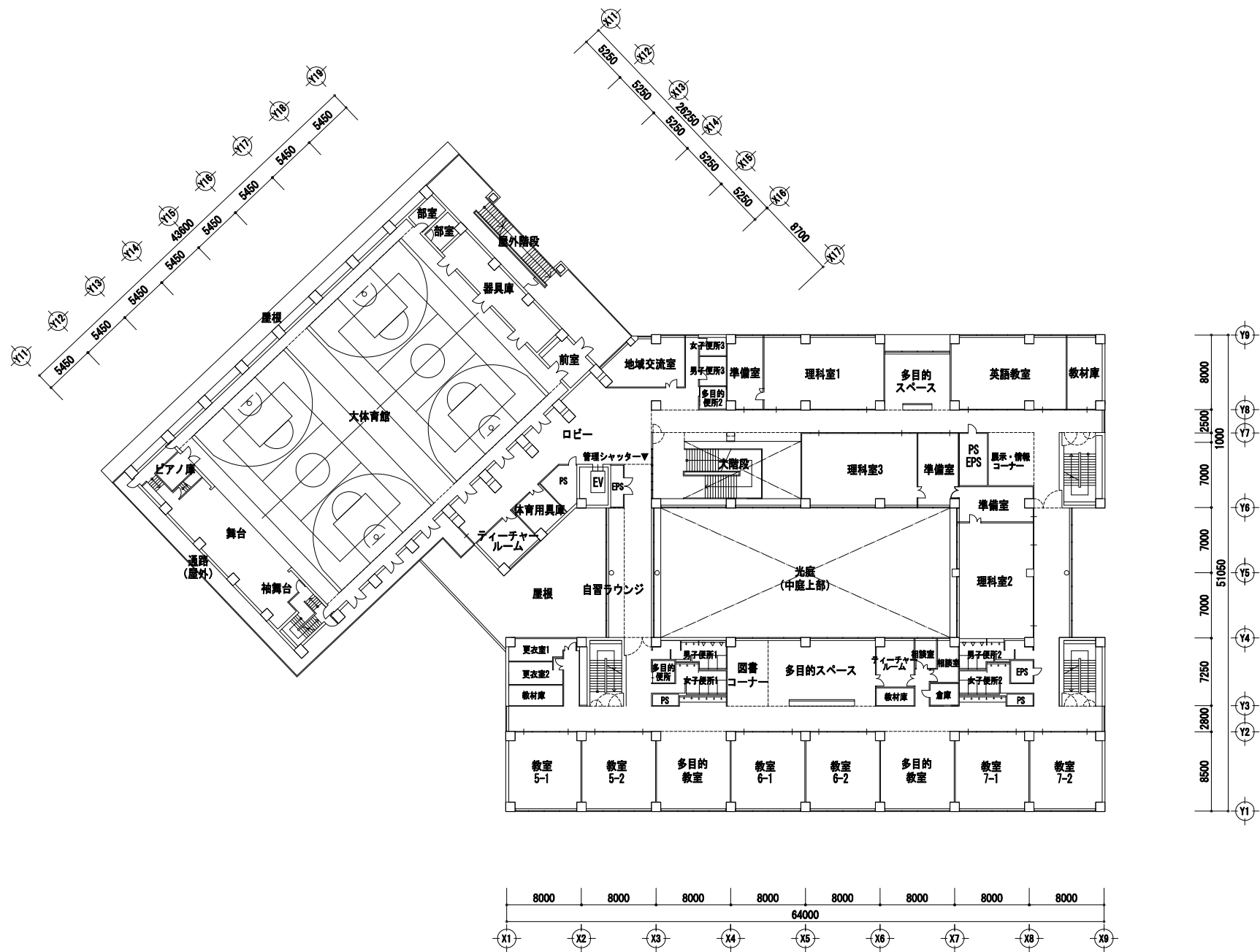


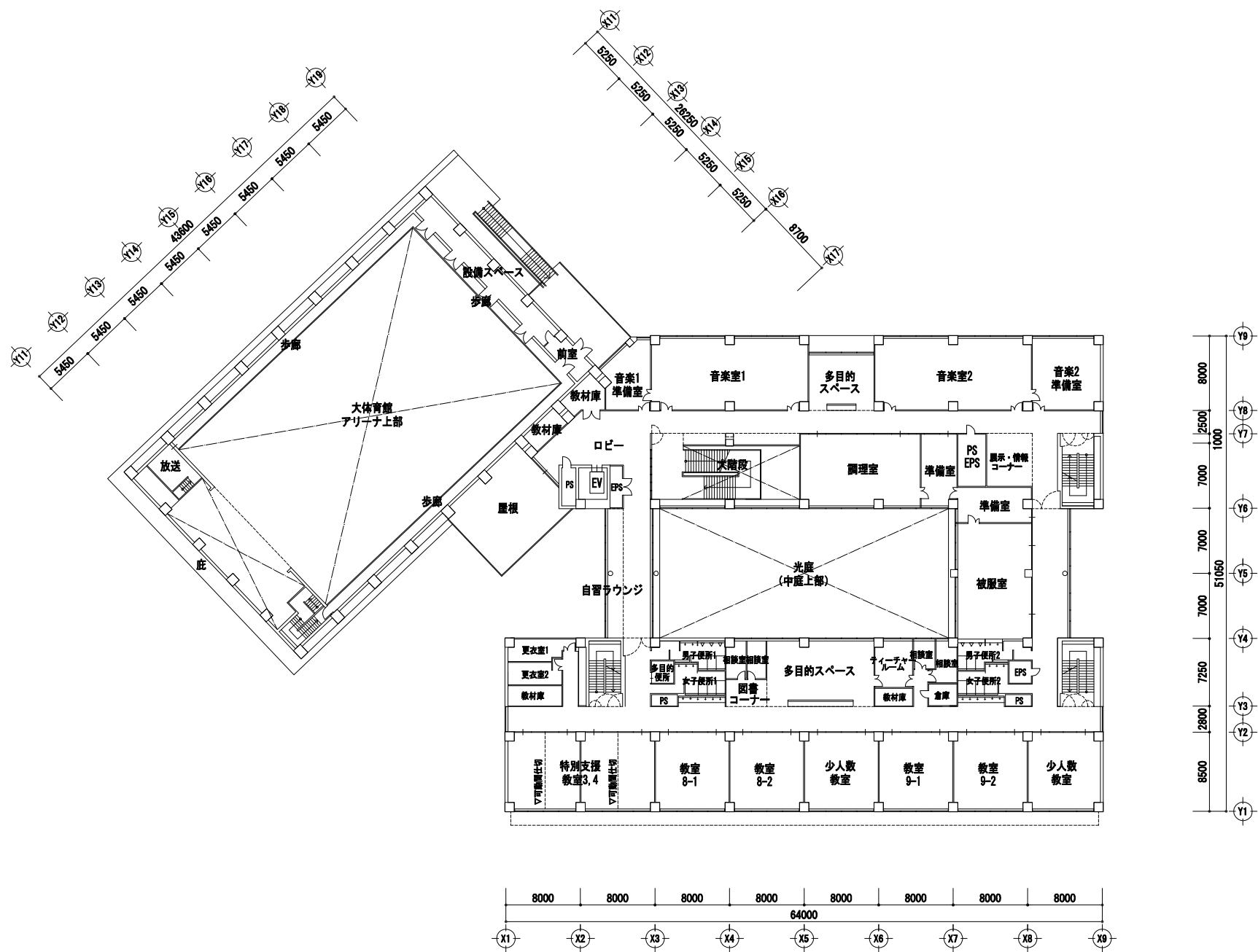
東条地域小中一貫校基本設計の概要

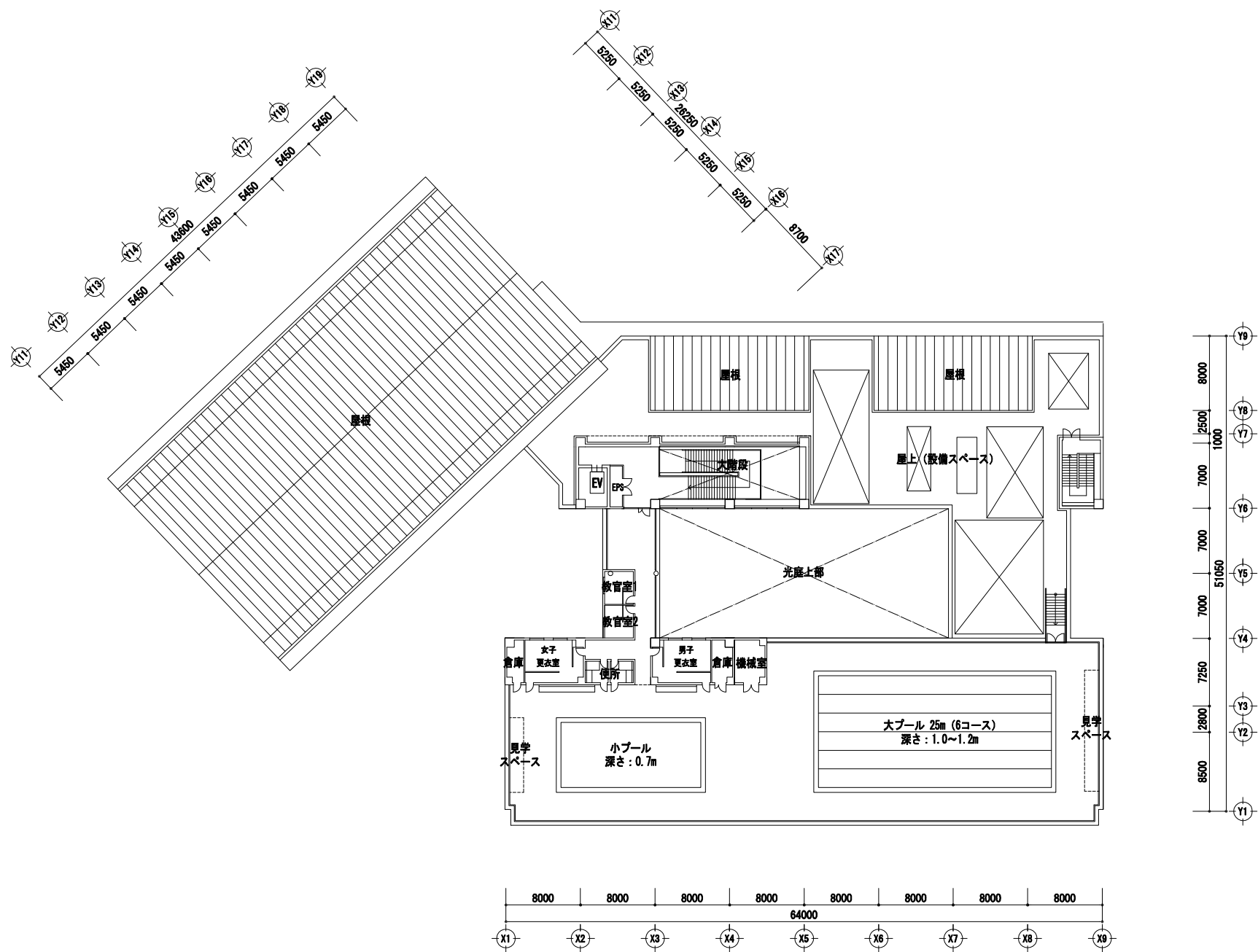
1階平面図

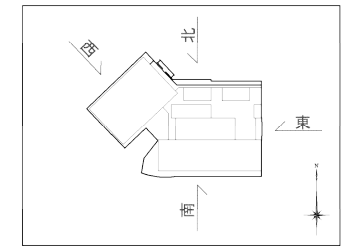
1:400 (A3)



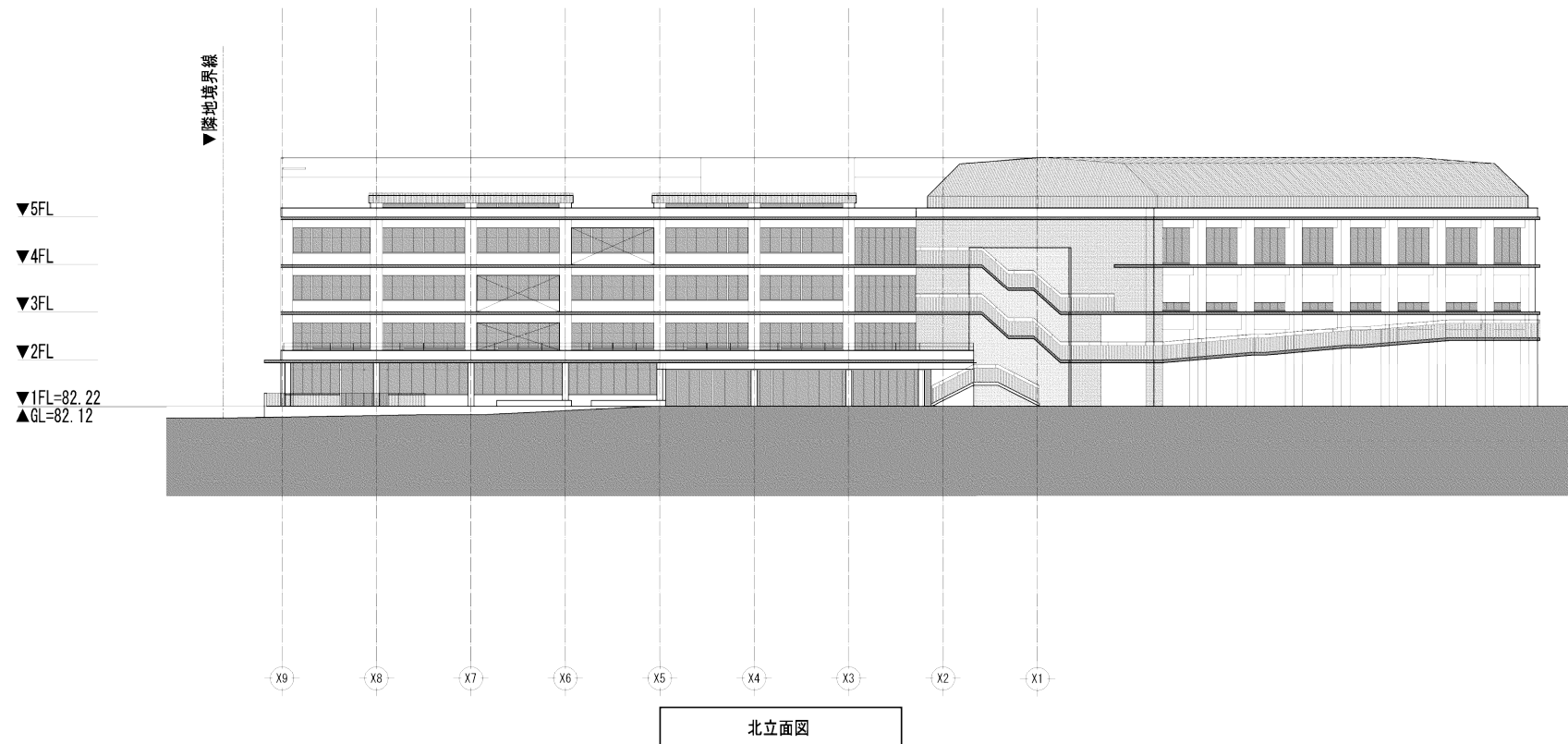


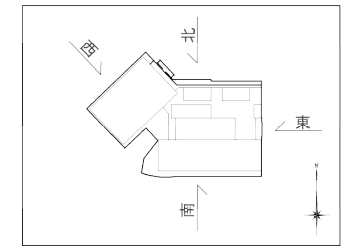




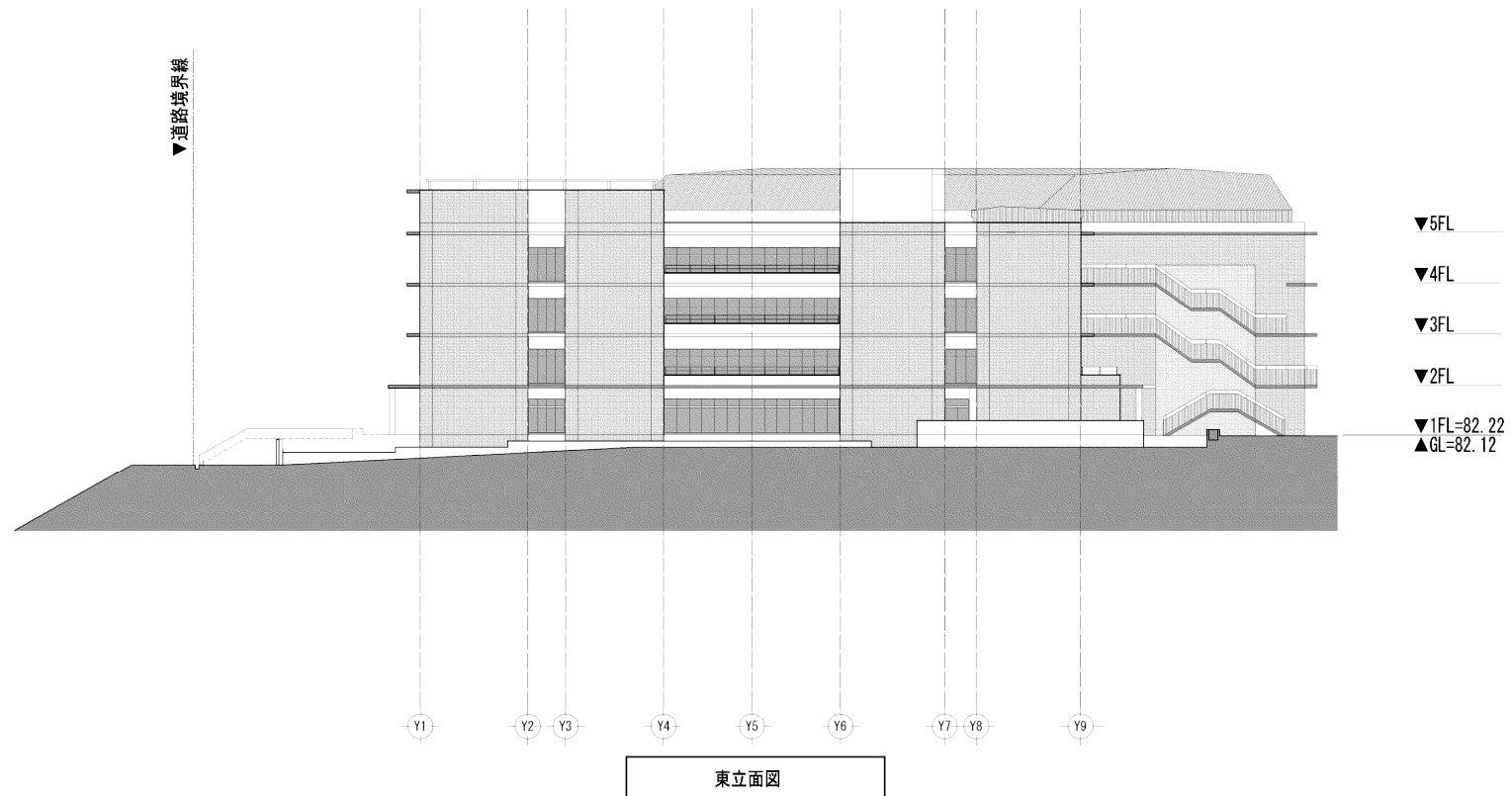


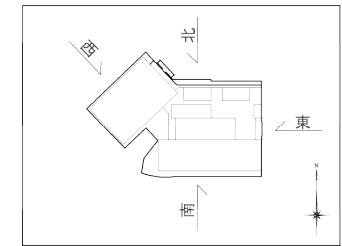
KEY PLAN





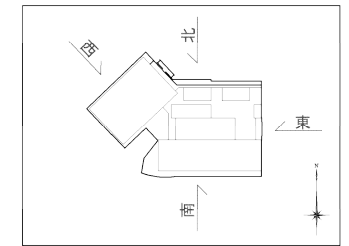
KEY PLAN



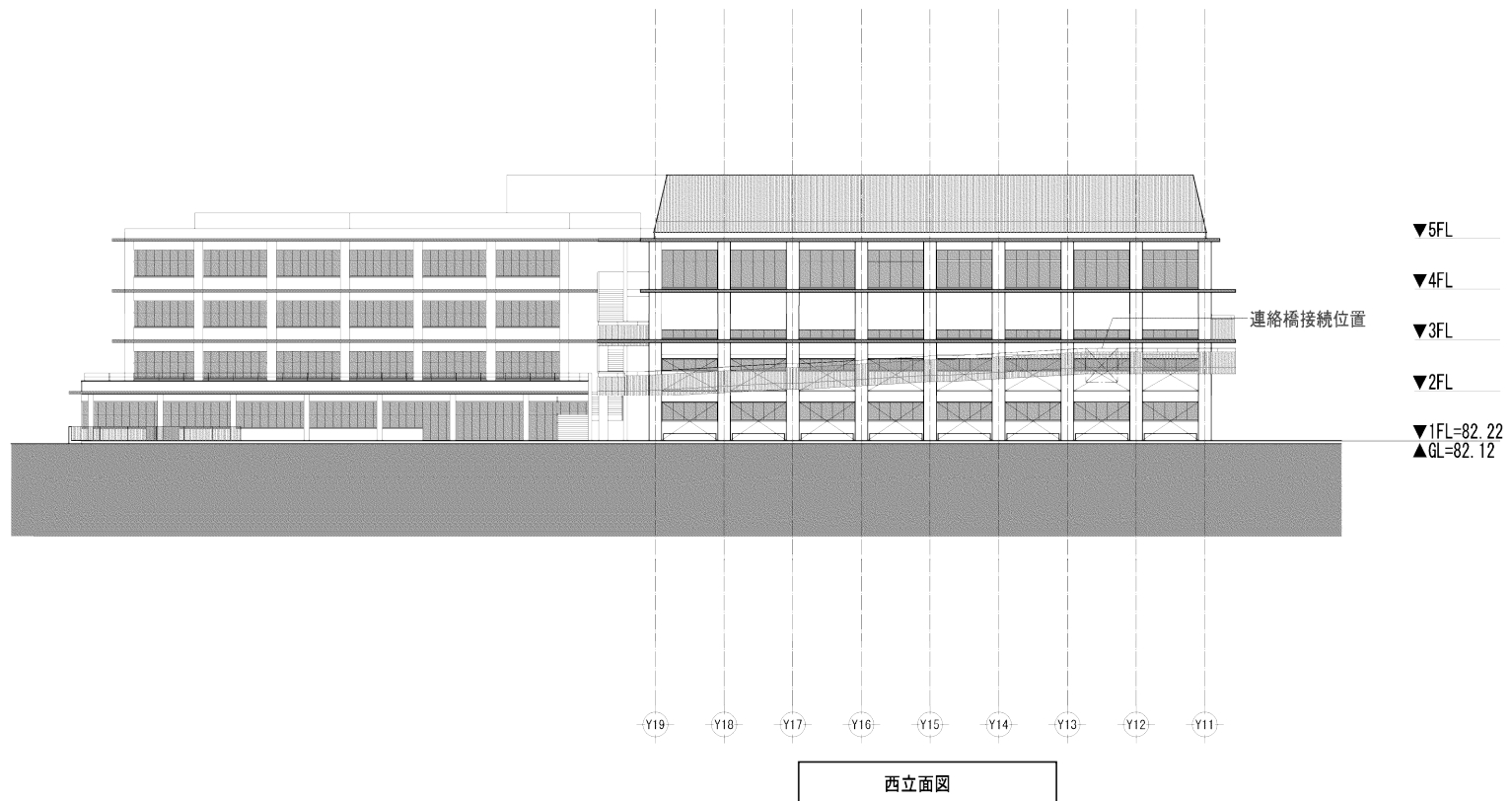


KEY PLAN





KEY PLAN



小中一貫教育の推進計画

